

# 新風

平成27年4月30日  
多治見市立陶都中学校  
No.2

## 陶都中、お昼の一風景から

多治見市立陶都中学校 松山 央

今年度最初の授業参観、そしてPTA総会・懇談会が、お陰様で無事終了いたしました。当日はたくさんの保護者の方にご参加いただき、誠にありがとうございました。2・3年生の学級委員さんも決まり、これで今年度のPTA全組織が整いました。改めまして、どうかよろしくお願ひいたします。

さて、しばらくは梅雨のような雨がちな日が続きましたが、このところは汗ばむような好天となり、朝活動も活況を呈してきました。28日は1年生の正式入部の日でしたが、ほどなく所属する部活もはっきりすることでしょう。どの部活にせよ一つのことに懸命に取り組む姿勢は、是非貫き通して欲しいと思います。

4月22日、23日の2日間でしたが、お昼休みに吹奏楽部による「新入生歓迎コンサート」がありました。これは、学校のHPにも紹介されておりましたが、ここ数年の恒例となっているイベントです。昨年は自身の出張と重なり参加することが出来なかったのですが、今年はしっかり自分の目と耳で楽しむことができました。会場は、中庭に面したピロティーで、その空間に吹奏楽部の2・3年生が並びます。そして、それを取り囲むようにしてたくさんの生徒や教職員が中庭の芝生やピロティーの階段など、思い思いの場所に席をとり、耳を傾けるといふ構図になりました。そう言えば、吹奏楽部は3月28日に産業文化センターで「スプリングコンサート」を行っています。このコンサートにも初めて参加してもらったのですが、この時は、夏のコンクールのような緊迫したものではなく、来場した皆さんにどうやったら楽しんでもらえるのだろうと、様々な工夫がなされたものでした。息の合ったすばらしい演奏はもちろんです、曲に合わせて隊形移動や踊りがあつたり、絵を登場させたりと、目でも十分楽しむことが出来ました。そして、こうした素敵な演出を1・2年生(当時)の生徒で考え、発表したのだと聞き驚きました。これは、その年の土岐商業高校の演奏会にゲストとして招待され、そこで見たり聴いたりしたことからも触発されたとのことでした。いろいろな良さを取り込み、考え、形にし、練習し、披露する。その間の部員同士の関わり合いを思うと、大変中身の濃い時間を過ごしてきたことが想像されます。そして、何よりも感心したのが、部員一人一人の自身に満ちた顔つきでした。「私たちの演奏を聴いてもらいたくてかなわない…」というような意欲がどんどん伝わってくるものでした。今回のコンサートも、実に堂々としたものであり、その甲斐あって全校が心休まる楽しい一時をすごすことが出来ました。平成27年度の吹奏楽部の面々の成長ぶりを目の当たりにして、大変頼もしく感じました。



4月から5月・6月へ。この時期が最も部活動やクラブ活動への熱の入る時期。そして伸びる時期。特に3年生にとっては、二度とやり直しのきかぬ中学時代の一つの佳境に入ります。どうか、限られた時間を目一杯使い切り、自己に向き合って欲しいものです。

「青麦の穂のするどさよ日は白く」 篠原鳳作

「自分で起きる」 多治見市教育委員会

今年度も「親育ちコーナー」をよろしくお願ひします。

子どもは、朝「自分で起きる」ことができていますか。自分で起きることができるには、子どもが「朝起きることは自分が決めてすること」と理解できていて、自分で起きることが習慣となっていることが大切です。一日の気持ち良いスタートをするためにも、「起こされる」より「自分で起きる」ことができるように、親子(家族)で努力してみましょう。

朝のあわただしい時間の中では、ゆっくり話をする時間はないと思います。時間の取れる時に、いままでの子どもの様子に合わせながら親子(家族)で話し合ひましょう。そして、その後子どもが自分で決めたことが少しでもできたら、認め励ますことが大切です。

親育ちコーナー